

講義コード	11C0381901	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	平 伊佐雄	開講期	通年
科目名	欧州経済史								
履修前提条件						備考			
授業の目的	本講義の目的は、ヨーロッパにおける古典古代から近代に至る経済活動の歴史を概観し、各時代の特徴を比較検討することにある。特に中世以降の歴史については、生産物の交換と流通に注目し、金融の役割を明らかにする。地域的には、商業は北海・バルト海を通じたヨーロッパ内の貿易活動を中心に学ぶ。産業革命期は、各国の工業化の動きとともに、当海を通じた生産物の動きを解説する。ただヨーロッパの経済史を長期のスパンで総合的に取り扱うため、各時代や地域、一国の経済の基本的な事柄、歴史の素材を提供することに限定される場合もある。それでも、研究視角を明確にし、各事象の歴史的な意義を問うことによって、エンドクサから発して新しい見地へと至る研究方法などを発見することを狙ってみたいと思う。								
到達目標	現在の経済現象を知るために、過去の事象がどのように役立つのか、役に立たせることができるのかを説明できるようになる。								
授業外学修内容・授業外学修時間数	毎回の講義内容に関して、各自で予習・復習を講義1回に当たり4時間(計120時間)行うこと。講義中に、前回の講義内用に関係する確認試験を行うこともある。講義のテキストは、WEB class 上に配布する。								
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> 【第1回】 古典古代ギリシアの歴史から見る経済 【第2回】 ローマ帝国の経済 【第3回】 中世ヨーロッパの農村世界 【第4回】 中世ヨーロッパの商業の始まりと非農業集落の形成 【第5回】 農村と都市 【第6回】 市場開催地としての都市 【第7回】 中世における都市の展開ヨーロッパの経済発展と入植活動 【第8回】 ハンザ商人の世界 【第9回】 ドイツ騎士団とバルト海貿易 【第10回】 中世都市の商人と職人－ハンブルクを例にして－ 【第11回】 イタリア商人の世界 【第12回】 中世都市の手工業者たち 【第13回】 砂糖の生産と交易活動 【第14回】 ポルトガル海洋帝国?の展開 【第15回】 太陽の沈まぬ帝国スペインと植民地支配－価格革命はあったのか－ 【第16回】 イベリア諸国の事業と商人たち－資金の獲得－ 【第17回】 オランダ諸都市の役割－為替手形と金融－ 【第18回】 バルト海交易におけるポーランド 【第19回】 近世イングランドの経済 【第20回】 ブリテン島における工業化への道 【第21回】 パークス・ブリタニカの時代 【第22回】 プロイセンにおける農村工業 【第23回】 プロイセンの輸出産業 【第24回】 プロイセン・ドイツの工業化 【第25回】 ロシアとヨーロッパ 【第26回】 ロシアにおける産業の発展 【第27回】 ロシアの工業化 【第28回】 フランス王国の政治と経済 【第29回】 フランス王国の産業の展開 【第30回】 フランス王国の工業化 								
成績評価の方法	レポート2回(前期・後期)と定期試験(前期・後期)によって評価する。								
フィードバックの内容	レポート課題や質問事項などについての解題を講義中に行う。								
教科書	『経済史への招待』カルロ・マリア・チボッラ(国文社)2001、『西洋経済史学』馬場、小野塚編(東京大学出版会)2001、『概説西洋経済史』荒井、竹岡編(有斐閣)1980、『商業史』石坂 他(有斐閣)1980、『経済史講義録－人間・国家・統合－』ピーター・マサイアス(晃洋書房)2008								
指定図書	『古代ローマ軍団大百科』ゴールズワーシー(東洋書林)2005、『古代から中世へ』ピレンヌ他(創文社)1975、『中世の商業革命』ロバート・ロベス(法政大学出版局)2007、『ドイツ植民と東欧世界の形成』シャルル・イグネ(彩流社)1997、『近世貿易の誕生』ティールホーフ(知泉書館)2005、『アントウェルペン国際商業の世界』中澤 勝三(同文館)1993、『近代ヨーロッパの誕生』玉木 俊明(講談社)2009、『イギリス海外貿易の研究』ソウル(文真堂)1980、『ドイツ産業革命』キーゼヴェター(晃洋書房)2006、『ロシアの工業化』フォーカス(日本経済評論社)1985								
参考書									
教員からのお知らせ	講義資料は、WEB class 上に配布するので、あらかじめダウンロード、印刷して講義に出席すること。講義後は、講義資料はダウンロードできなくなるので注意するように。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受け付けます。また、WebClassのメッセージ機能でも受け付けます(利用方法はポータルサイト、ライブラリ内のマニュアルを参照)。								
その他									